

具体例に学ぶ、中国知財権利行使の実務

～商標権、著作権、意匠権侵害対応から、特許権侵害対応まで～

【開催要領】 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日時▶ 2015年 8月 19日(水) 13:00～17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

【開催にあたって】

中国では、ブランド品の模倣品、また、映画・音楽等の海賊版に加え、BtoCからBtoBまでほぼ全ての業界において模倣被害が生じているといっても過言ではありません。また、物流の発展や、インターネットへのシフトなどの影響で、これらの被害も分散し、発見が困難となりつつあるなど、対応の難易度も増えています。本セミナーでは、このような現状を踏まえた上、商標権侵害、著作権侵害、意匠権侵害を構成する模倣品への対応から、特許権侵害への対応まで、中国における権利行使の実務を解説し、権利者企業において最善の権利行使措置が取れるようになることを目指します。

講師 法律事務所 LIO・株式会社 LIO(<http://www.li-opt.com/>) 弁護士 島田敏史 氏

講師紹介 中国知財専門。弁護士資格取得、国内企業法務に従事した後、在中国調査会社に勤務。上場企業やジェトロ等の依頼により、中国での権利取得、権利行使の実務に従事。中国国内での権利行使には様々な明文化されていない部分があることを熟知しており、実態に即したサービスを提供。顧客満足の追求を理念とし、ウェブサイト上の「ナレッジコンテンツ」(<http://li-opt.com/knowledge-contents/>)を通じて広く情報発信にも努めている。

【申込書送付先】 FAX▶03-5215-0951 ※当会 HP からもお申し込み頂けます。企業研究会Q 検索

■受講料: 1名(税込・資料代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員 34,560円(本体価格 32,000円) 一般 37,800円(本体価格 35,000円)

151497-0303 (※) 具体例に学ぶ、中国知財権利行使の実務

ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 役	属 職	
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■参加要領: 申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからもお申し込み頂けます。後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。
※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認ください。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])
※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。
■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/川守田 E-mail:kawamorita@bri.or.jp
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町31MTビル2F

・プログラム・

1. 商標権、著作権、意匠権侵害の対応実務

- (1) 中国における模倣品被害の概況は?
- (2) 費用をかけて模倣対策をすることに意味があるのか? 費用対効果は?
- (3) 模倣被害を把握するための「調査」とは? 被害の全体像を把握することは可能か?
- (4) 警告状、行政摘発、刑事摘発、民事訴訟等の使い分けの基準は?
- (5) 商標権・意匠権・著作権といった権利によって取るべき対応策はどう違うのか?
- (6) インターネット上での模倣行為が増えているが、有効な手立てはあるのか?
- (7) 中国から模倣品が輸出されているというのは本当か? どの程度輸出されているのか? 止められるのか?
- (8) 費用を徹底的に抑えたいが、よい方法はあるか?
- (9) はじめての模倣対策プラン・予算(サンプル事例)

2. 特許権侵害への対応実務

- (1) 訴訟件数は? 日系企業が当事者となる訴訟例は多いのか?
- (2) 特許権侵害への対応の意義は? 費用対効果は?
- (3) 特許権侵害はどうやって発見するのか?
- (4) 侵害品の製造者を突き止めることはできるのか?
- (5) 必要な証拠はどうやって集めるのか? 鑑定機構を使う必要は?
- (6) 裁判所の判断が不安定と言われる中国で特許権侵害訴訟は勝てるのか?
- (7) 無効審判との関係は?

3. 中国現地代理人との付き合い方

- (1) 中国人と日本人の考え方の違い
- (2) 嘘の情報を流すというのは本当か?
- (3) 偽造案件の見抜き方は?
- (4) 騙されないようにするにはどうしたらよいのか?
- (5) 中国現地代理人の上手な使い方は?

4. 成功モデルケース

- (1) 模倣品のサプライチェーンを解明し、模倣対策の意義を明らかにする事例
- (2) 摘発により市場の模倣品シェアを数十%→数%まで減少させる事例
- (3) 大型の製造業者を突き止め、摘発により製造行為を停止させる事例
- (4) インターネット上の模倣品販売リンクを80%近く減少させる事例
- (5) 特許権侵害品の販売業者と製造業者を提訴し、侵害行為を停止させ賠償金を取得する事例
- (6) 真偽が疑われる代理人の報告について、事実関係を確認し虚偽であることを確認する事例

※弁護士、弁理士、コンサルティング業など、講師とご同業、専門家の方のご参加はお断りする場合がございます。

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。